

土木学会 舗装工学委員会 水工アスファルト小委員会の活動継続に関して

○主要な構成委員

委員長 笠原 篤 (北海道工業大学 名誉教授)
副委員長 亀山 修一 (北海道工業大学 教授)
幹事長 土居 賢彦 (東京電力株式会社)

○活動内容

今年度まで継続してきた水工アスファルト小委員会では、“アスファルト遮水壁工”の設計～維持管理に至までの現状技術を標準化した参考図書として、舗装工学ライブラリーを取りまとめ、刊行した(2012年9月刊行)。当該ライブラリーは、今後のアスファルト遮水壁工の設計や施工、あるいは維持管理における有用な参考図書となるであろうと自負するところではあるが、一方で現在運用中のダムや調整池におけるアスファルト遮水壁の中には、老朽化が進行しているものも多く、その調査結果の評価や補修工法の選定など維持管理手法に対する課題の解決には万全とは言い難い。

近年運用を開始した九州電力(株)小丸川発電所、現在建設中であり間もなく完成する北海道電力(株)の京極発電所におけるアスファルト遮水壁は、最新鋭の技術により設計・施工されたものではあるが、今後はその保守管理が最大の課題となる。

今回刊行した“舗装工学ライブラリー アスファルト遮水壁”における維持管理編は、既往実績の紹介を主体とした記述にとどめており、具体的な健全度の評価手法や補修工法の選定手法などについては記述しきれていないのが現状である。

また、一昨年の東日本大震災において被災したアスファルト遮水壁の補修事例を維持管理編に加筆したものの、被災原因の究明やそれを反映した耐震設計の見直しは、今後の重要な課題の一つである。

それら背景を鑑み、また、本小委員会がアスファルト遮水壁工という専門性が高く、数少ない設計者、管理者、施工者および学識者が一堂に会し議論可能な貴重な場であることを考慮し、水工アスファルト小委員会を存続させたいと考える。

○主な活動内容(案)

- ・アスファルト遮水壁の保守管理手法を標準化
- ・アスファルト遮水壁の耐震設計手法の見直し

○委員の募集

本委員会に委員として参加を希望する方は、氏名、所属、連絡先を明記の上、幹事長(補佐)水野孝浩までメール(takahiro_mizuno@taiseirotec.co.jp)でお申込みください。募集は2013年5月31日付で締め切ります。